

## 平成31年1月から令和元年12月までに寄せられた県政提言等

※ 令和2年度当初予算等を反映した内容を掲載しています。(各月の公表から変更になった部分を網掛けにして表示しています。)

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
1	苦情 (施策・事業)	2019/1/11	知事ホームページ	<p>知人から聞いた話だが、県立遠野病院の対応がひどく、遠野市民として不安である。</p> <p>平成30年12月末に骨折で県立遠野病院へ救急搬送された際、専門医が正月休みで不在だったため、座薬等を使用し看護師が対応する方針を伝えられた。その後、専門医は勤務予定日にも出勤せず、数日間も骨折した状態だったという。3日後に専門医が来たが、麻酔等の理由で遠野病院での手術は不可能との判断により中部病院に移送された。なぜ早く中部病院に連絡しなかったのか。</p> <p>このような対応をされ、数日間骨折した状態に耐えた患者にも納得できる回答をお願いしたい。</p>	<p>当院では、休日及び夜間に救急患者さんが来院した場合には、当直医師の判断で専門の医師に連絡を取り対応しています。当院の整形外科については、常勤医1名により、休日や夜間も対応していますが、当該医師が市内を離れて不在となる場合など、迅速な対応が困難な状況が生じることもあるところです。当院においても、複数名の医師を配置すべく、常勤医の主な派遣元である関係大学に働きかけをするなどしていますが、大学医局自体の医師の絶対数が不足している状態であり、充足が困難な現状となっています。</p> <p>救急患者さんの受け入れに関しては、当圏域の基幹病院である県立中部病院をはじめ、関係医療機関とこれまで以上に円滑な連携を図るなどしながら対応していきますので、御理解と御協力のほどよろしく申し上げます。</p>	B 実現に努力しているもの	医療局	岩手県立遠野病院	医事経営課
2	教育	2019/1/21	知事ホームページ	<p>県内の中学校、高校の制服について、女子がスカートで男子がズボンである理由は何か。LGBTかどうにかかわらず、好きな方を選ぶことが学校運営において不都合があるのか。</p> <p>また、制服の規定は「お願い」であり「義務ではない」としているが、実際は服装チェックや指導が行われ、規定以外のものは認めていないのではないのか。</p>	<p>制服については、我が国の歴史的な背景等を踏まえ各学校において定めており、生徒の意見を集約し、合意形成を図りながら制服を決定している学校もあります。</p> <p>また、LGBTなどで、戸籍上の性別による制服を着用することに違和感を感じている生徒に対しては、各学校において、個々の生徒の希望などを考慮した上で体操着の着用を認めるなど、適切に対応しているところです。</p> <p>なお、服装の指導については、各学校の判断により実施しており、多くの学校では規範意識の育成とともに、落ち着いた充実した学校生活を送ることができるよう行われているものです。</p>	B 実現に努力しているもの	教育委員会事務局	学校教育課	義務教育担当・高校教育担当・特別支援教育担当
3	苦情 (施策・事業)	2019/1/4	電子メール	<p>二戸土木センターの臨時職員は同じ人が何度も採用されているというが、不公平ではないか。経験者が有利になるのは分からなくもないが、同じ人を何度も採用するのであれば、求人を出さないで内々でやってほしい。</p> <p>県民が納得できるよう回答してほしい。</p>	<p>県では、期限付臨時職員の任用は、6月以内の期間を定めて行い、必要がある場合は、勤務成績等を踏まえて6月以内の期間を定めて更新することができることとなっており、任用期間経過後は、原則、期限付臨時職員であった日の最終日の翌日から起算して6月を経過しない者は任用しない取扱いとしています。</p> <p>現在、当センターでは、任用期間を経過して退職した後、引き続き期限付臨時職員が必要な場合は、公共職業安定所への求人申込み等により実施しており、採用に当たっては応募者の技能や経験等を総合的に判断し、採用しているところです。</p> <p>なお、一定期間、求人申込みがなく採用できないなどのやむを得ない場合に限り、特例として任用中断期間の短縮を行っているところであり、求職者への雇用機会の提供を公平に行うよう努めていますので、御理解いただきますようお願いいたします。</p>	A 提言の趣旨に沿って措置	県北広域振興局(二戸)	土木部	二戸土木センター管理課

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
4	苦情(施策・事業)	2019/1/7	電子メール	平成31年1月5日、二戸市内は湿った雪が日中に溶け、夜には路面がブラックアイスバーン状態になった。二戸駅前の県道114号二戸停車場線のロードヒーターが入っておらず、車は下り坂で止まれず、歩道では杖をついた高齢者が滑って転倒して危険な状況であった。そのため、住民が手分けして除雪作業をしたり、自腹で融雪剤を購入して撒いている。なぜ設置してあるヒーターを使用しないのか。もう少し市民の目線に立った仕事をしてもらいたい。	今回は、対応が十分でなかったということで、御迷惑をお掛けし、お詫び申し上げます。 県道二戸停車場線の車道部のロードヒーティングは、二戸駅から県道二戸一戸線に向って、市道枋ノ木中道線及び市道枋ノ木台中平1号線との交差点部手前の区間(上り車線と下り車線)と、市道石切所支所線交差点から県道二戸一戸線の間の下り車線に設置しており、12月から稼働しています。 交差点以外のロードヒーティングが設置されていない区間については、凍結抑制剤の散布を行い、凍結の抑制に努めています。 歩道部のロードヒーティングは、機械に故障が発生したために修理を行い、平成31年1月16日に稼働しました。修理中は凍結抑制剤の散布を行っておりました。 今後、ロードヒーティングの保守管理と凍結抑制剤散布を徹底し、冬期の安全な通行確保に努めていきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	県北広域振興局(二戸)	土木部	二戸土木センター 道路河川環境課
5	自然公園・ジオパーク	2019/1/29	県政懇談会	県や市町村では、交流人口の拡大が大きなテーマになっているが、ジオは発信力を高めるための大きなアイテムになると思う。特に歴史や文化が証明している琥珀は、すばらしいアイテムになると思う。是非、県立博物館の分館のような形で、地質に特化した施設をつくってほしい。	三陸ジオパークを活用した地域振興策として、価値や魅力を高めるための施設を設置する必要性は認識しているところですが、県立博物館については開設から間もなく40年を迎え、施設の大規模改修が必要な時期を迎えています。このため、現有施設の改修を優先せざるを得ない状況にあることから、今後は現在の展示内容の更なる充実を図るよう対応していきたいと考えています。	C 当面は実現できないもの	教育委員会事務局	生涯学習文化財課	文化財担当
6	自然公園・ジオパーク	2019/1/29	県政懇談会	現在いわて花巻空港に直行便が就航している台湾の野柳風景特定区には、すごい規模のジオサイトがあり、間もなく直行便が就航する中国は、ジオパーク大国である。今後の交流人口拡大に向けては国際交流も重要であり、日本ジオパークの再認定に向けても、そういった枠を広げた取組が必要ではないか。	県では、インバウンド受入のスキルアップを図るガイド研修、多言語化(日本語・英語・中国語(繁体字))した案内板の整備、ジオストーリーに沿って多言語化したVR動画の制作など、台湾や中国など海外からの観光客の受入環境の整備を行ってきました。 今後も、海外からの観光客の誘客につながるよう、情報発信や受入環境の整備等を行っていきます。	B 実現に努力しているもの	環境生活部	環境生活企画室	ジオパーク推進担当
7	自然公園・ジオパーク	2019/1/29	県政懇談会	岩手県は、プラネタリウムに行かなくても星空が見え、博物館に行かなくても花は咲いていて、地層に至っては、5億年前のカンブリア紀から現代に至るまでの化石や地層がその辺にあるというぜいたくな環境にいるが、それを案内できる人や自然観察のプログラムを提供できる人がいないと活用できない。そういうことをやっていくのもジオパークの役割ではないか。	三陸ジオパーク推進協議会では、各地域のジオパーク協議会等と連携して、ガイドのレベルアップを図る研修を実施しています。同協議会では、今後もガイドの三陸ジオパーク全体のテーマやジオストーリー等の理解促進のため、人材育成を推進していきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	環境生活部	環境生活企画室	ジオパーク推進担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
8	自然公園・ジオパーク	2019/1/29	県政懇談会	ジオツアーやジオめぐりは、ジオ関係者や地域住民の方々にジオサイトを知ってもらうために開催していると思うが、講習会や勉強会という意味付けのものが多く、参加者からは、ジオは難しい、勉強しなければだめだ、マニアックな人ばかりだという声が多く聞かれる。 商品として観光客が呼べるような内容にしていかなければならないのではないかと。	三陸ジオパーク推進協議会では、各地域ジオパーク協議会等と連携して、みちのく潮風トレイルや三陸鉄道等を活用したツアーなど、観光客にも魅力的なツアー造成の支援に取り組んでいきます。	B 実現に努力しているもの	環境生活部	環境生活企画室	ジオパーク推進担当
9	自然公園・ジオパーク	2019/1/29	県政懇談会	田野畑村から八戸市の種差海岸の間は、ジオパークの発信基地となるような施設がない。 ほた展望台は、東日本大震災の大津波記念碑が建立され、ジオサイトの十府ヶ浦、野田玉川鉱山跡にも近く、絶好の場所だと思つるので、ジオパークの発信基地としてほしい。	三陸ジオパーク推進協議会では、令和元年度に、各地域ジオパーク協議会等と連携して、三陸ジオパークの情報発信等を行う拠点施設の機能や役割の再確認を行い、田野畑村から八戸市の間においては、北山崎ビジターセンター、国民宿舎くろさき荘、道の駅のた、久慈地下水族科学館もぐらんぴあ、ひろの水産会館ウニーク、フォレストピア階上、種差海岸インフォメーションセンター及び八戸市水産科学館マリエントを拠点施設として位置付けました。 また、ほた展望台についても、同協議会が、野田村等と連携の上、ジオパークのポスター及びのぼりの掲示やジオマップの配架等により、情報発信を行っています。	B 実現に努力しているもの	環境生活部	環境生活企画室	ジオパーク推進担当
10	自然公園・ジオパーク	2019/1/29	県政懇談会	米田地区のほた展望台の近くに津波が18回押し寄せたことが分かる地層がある。これは津波の7,000年の歴史であり、是非ジオサイトに指定してほしい。	三陸ジオパーク推進協議会では、各地域ジオパーク協議会等と連携して、ジオサイト体系の再構築を図っているところです。新たなジオサイトの選定については、今後、同協議会が、各地域ジオパーク協議会や市町村等と連携して、地質の専門家等の意見を聞きながら検討していきます。	B 実現に努力しているもの	環境生活部	環境生活企画室	ジオパーク推進担当
11	自然公園・ジオパーク	2019/1/29	県政懇談会	ジオパークのような片仮名言葉は、お年寄りや子どもたちに親しみのない言葉であり難しいという印象を与えていると感じる。説明資料などは、文章だけでなく漫画などを活用し、興味がわくような工夫をしていく必要があるのではないかと。	県では、令和元年度、三陸ジオパーク推進協議会と連携して、三陸ジオパークの魅力について、誰にでもわかりやすく、興味がわくように、ポスター、三陸ジオマップ及び三陸ジオパークガイドブックを作成しました。	A 提言の趣旨に沿って措置	環境生活部	環境生活企画室	ジオパーク推進担当
12	自然公園・ジオパーク	2019/1/29	県政懇談会	北三陸大地の恵み・ジオパーク推進連絡会の発足当初から様々な活動を続けているが、ガイドの内容や研修内容が地学偏重だと思う。地学オタクよりは歴史や観光オタクにも興味を持ってもらってイメージを高め、最後にそれらは大地の恵みだという説明が必要ではないかと。	三陸ジオパーク推進協議会では、各地域ジオパーク協議会等と連携して、分かりやすいジオストーリーへの見直しを行っています。同協議会では、見直したジオストーリーについて、ガイド研修等によりガイド間での情報共有を図りますが、御提言にあるように、興味を引きつけるようなガイドとなるよう関係者と取り組んでいきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	環境生活部	環境生活企画室	ジオパーク推進担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
13	苦情(職員)	2019/2/12	電子メール	先日、北東北三県福岡合同事務所運営協議会嘱託職員の求人募集に応募し、選考結果について問い合わせたところ、対応した職員の態度が横柄で不快であった。	県では、求人募集に係る選考結果については、電話では本人確認ができないため、回答しないこととしていますので、御理解をお願いします。 なお、職員の電話対応については、日々の指導や研修を通じて、接遇マナーの向上を図っています。	A 提言の趣旨に沿って措置	商工労働観光部	商工企画室	管理担当
14	県施設管理等	2019/2/14	電子メール	農業ふれあい公園を犬の散歩で利用している。冬でも毎日利用したいが、除雪されていないので、難しい日が多々ある。 遊歩道を、最低限でいいので除雪していただけないか。近くに公園もなく、ふれあい公園の存在がありがたい。雪が多い日だけでも結構だ。	農業ふれあい公園遊歩道は、マナーを守っていただきながら、自由に御利用いただける施設として開放していますが、冬期間については、人員や予算の確保が困難なことから、除雪等の対応はできかねますので、何とぞ御理解をお願いします。	D 実現が極めて困難なもの	農林水産部	農業研究センター	企画管理部総務課
15	花巻空港	2019/2/22	電子メール	都心から岩手まで行くには遠く、新幹線や車による移動では費用、時間ともにかかるので、東京～いわて花巻空港間の航路開設について、航空会社へ働きかけてほしい。今は格安航空会社(LCC)もあり、安く行けると思うし、東京からの航路があれば、岩手をもっと身近に感じる事ができ、岩手の魅力をもっと伝えられると思う。	東京からの航路開設については、これまでも航空会社に対して羽田線の就航等を要望しているところですが、新幹線との競合や羽田空港の発着枠の問題などから難しいとの見解が示されています。 しかし、羽田線の就航は、国内外とのアクセス向上や、訪日外国人誘客の観点からも重要な路線になると考えており、今後も引き続き羽田線の開設について航空会社に要望し、いわて花巻空港の一層の利便性向上に努めていきます。	B 実現に努力しているもの	政策地域部	交通政策室	空港振興担当
16	苦情(職員)	2019/2/19	文書	平成31年2月13日に県庁地下食堂を利用した際、県庁10階の臨時職員が同一階の別の臨時職員を呼び止め、大声で罵倒している場面を見かけ不快であった。地下食堂は、職員以外の者も利用できる公共の場であり、マナーが悪い。このような職員を採用すること自体問題であり、臨時職員に対する指導及び厳重処分を徹底すべきである。	このたびは、職員の不適切な態度で不快な思いにさせてしまい、大変申し訳ありませんでした。期限付き臨時職員を含め職員に対しては、職務や執務室の内外を問わず、公務に就く者として、コンプライアンス意識を保持するよう注意を喚起しているところですが、いただいた御意見を踏まえ、服務規律や良好な職場環境の確保に向け、より一層指導を徹底していきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	教育委員会事務局	教職員課	組織人事担当
17	苦情(職員)	2019/2/25	電子メール	平成31年2月24日の午後、盛岡市の八幡町通りを走行していた警察車両に乗車していた2名の警察官が、運転手を含め2人ともスマートフォンを操作していた。 事実を確認し回答してほしい。	御提言をいただいた件について、当署の車両の走行状況を含め調査したところ、盛岡市八幡町地内を走行していた車両はありましたが、運転していた職員が走行中にスマートフォンを操作していた事実はありませんでした。 聴取した結果において、特段の問題は認められませんが、県民の皆様に誤解や疑念を抱かせることがないよう、職員への指導を徹底します。 引き続き、各種警察活動への御理解と御協力をお願いします。	A 提言の趣旨に沿って措置	警察本部	盛岡東警察署	警務課

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
18	復興	2019/2/21	来訪	<p>東日本大震災で被災し、他県に在住の息子のところに避難した母親の為に、住宅を新築して市役所へ復興住宅新築等支援事業補助金交付(バリアフリー対応住宅と県産材使用住宅)を申請した際、「市内に住所を有していない。」とのことで受付してもらえなかったが、再度、市へ交渉したところ、県の補助金なので協議して連絡することだった。</p> <p>母親は、再建を目指した頃は健常者だったが、最近介護が必要な状態となっているので、新築した住宅に居住することはできないが、復興のため地元の木材で住宅を建て、また、建物が建てば固定資産税として市へ貢献できる思いがある。</p> <p>他にも同じ立場の人達の想いを考慮してこの制度が広く活用されることを願い、制度の見直しをお願いする。</p>	<p>生活再建住宅支援事業は、東日本大震災により被災した住宅の早期復興に資するため、県内の市町村が行う被災住宅の再建を目的とした補助事業に対し、予算の範囲内で補助金を交付する事業です。</p> <p>この事業は、東日本大震災により住宅を滅失した方が、県内に自ら居住するために行う住宅の新築を行う場合に、最大130万円の補助金を支給する事業として制度化したものです。</p> <p>事業の実施に際して、補助金の交付を行う市町村では、被災された方が、その市町村に自ら居住するという補助要件を確認する必要があったことから、判断の方法として、市町村内に住所を有しているか否かについて確認を行い、今回の場合は、自ら居住するという補助金の交付案件に当てはまらないものとして判断したものと考えます。</p> <p>このため、お尋ねの件に関しては、適用とならなかったものと理解しています。</p> <p>復興基金を財源とした補助金を居住支援の目的に沿って活用するため、制度化に際して、このように補助の要件を設定しておりますので、御理解いただきますようお願いいたします。</p>	D 実現が極めて困難なもの	県土整備部	建築住宅課	建築指導担当
19	教育	2019/2/12	県政懇談会	<p>農業体験をしたいという問い合わせをいただくが、人数の関係で、一つの農業法人だけでは受け入れられないケースが多くなってきている。町内の小学生を見ても、ほとんどの子どもが稲刈りを体験したことがないという状況であり、子どもたちから農業に触れる機会を増やしていくような取組が必要である。</p>	<p>盛岡広域振興局管内の小中学校においては、「知・徳・体を総合的に兼ね備えた人材育成」に向け、学校教育活動を進めています。</p> <p>特に、体験活動については、地域の協力をいただきながら、学校の特色を生かした活動を進めています。</p> <p>小学校においては、生活科におけるミニトマトやあさがおの栽培からスタートし、野菜やリンゴ栽培、稲作やそば栽培等、地域の特色を生かした活動を進めており、中学校においても、職業体験の一環として、農業体験を位置付けている学校もあります。</p> <p>今後も、関係機関との連携を一層図るとともに、地域の協力を得ながら、主要産業である農業についての理解を教育活動全体を通して深めていきます。</p>	A 提言の趣旨に沿って措置	盛岡広域振興局	経営企画部	企画推進課
20	農業振興	2019/2/12	県政懇談会	<p>県外に米の販売に行った際、岩手のお米と言われてもぴんと来ないという方がほとんどであり、岩手の米の知名度の低さを感じている。もっとPRを強化していく必要があるのではないかと。</p>	<p>県では、平成30年2月に策定した、新たな「いわての美味しいお米生産・販売戦略」に基づき、県産米全体の評価・知名度の向上などに取り組んでいるところです。</p> <p>産地交流やSNSなどを活用した情報発信などにより、消費者や実需者との結びつきを更に深め、トップセールスなどの販売促進活動を広く展開することにより、高価格での取引の実現に向け、取り組んでいきます。</p>	B 実現に努力しているもの	農林水産部	県産米戦略室	県産米戦略担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
21	農業振興	2019/2/12	県政懇談会	県の農林水産物機能性活用研究会が開催するセミナーに出席し情報を収集しているが、ヤマブドウが持っている本質を探究し価値を高める必要があると考えており、是非ヤマブドウにも着目してほしい。ヤマブドウの価値を高めることで、日本一の生産地からヤマブドウの先進地に一步踏み出すことができるのではないか。	本県の特産果実であるヤマブドウの有する機能性については、地方独立行政法人岩手県工業技術センターや公益財団法人岩手生物工学研究センターにおいて複数の研究がなされており、この研究成果として、健康の維持増進などに有益とされているアミノ酸やポリフェノールなどの含有も確認されたところです。 県では、こうした研究成果に早くから着目し、地場産業及び食産業振興の観点から、地場企業や試験研究機関等と連携して、ヤマブドウを原料とした商品開発などの取組を支援してきました。 令和元年度に策定した「政策推進プラン(2019～2022)」において、近年、健康増進の観点から注目されている県産農林水産物の機能性成分について、試験研究機関や民間企業等による研究・商品開発を進めていくこととしており、ヤマブドウに関しても同様に取り組んでいきます。	B 実現に努力しているもの	商工労働観光部・農林水産部	商工企画室・農林水産企画室	企画担当
22	農業振興	2019/2/12	県政懇談会	スマート農業という生産現場が注目されるが、販路にも大きく関わっており、その重要性が増してきている。今後は、そういったところへの支援も考えてほしい。	生産者や商工業者等による「地域ぐるみ」の6次産業化を推進するため、県産農林水産物を活用した発信力のある特産品開発や料理メニューの提供を促進するとともに、農商工連携などを深化させ、付加価値を高めながら消費までつないでいくバリューチェーン(※)の構築に向けた取組を促進します。  ※バリューチェーン:生産から製造・加工、流通、消費に係る各段階の付加価値を高めながらつなぎ合わせ、食を基軸とする付加価値の連鎖を作る取組のこと。	B 実現に努力しているもの	農林水産部	流通課	6次産業推進担当
23	農業振興	2019/2/12	県政懇談会	農業分野では、市町村を越えた連携がどんどん生まれてきており、我々も岩手町や花巻市などと連携した生産を行っている。 他の市町村との連携を進めるに当たり、県に旗振り役を担ってもらえれば、規模拡大など、農業法人として生き残っていくための方策をとりやすくなる。	これまで、市町村を越えた生産者同士の連携による野菜の産地リレーやグループ出荷に向けて、作期の長期化や作業の分業化などの取組を支援してきたところです。 また、薬用作物の栽培についても、県北地域と県央地域での安定生産に向けた技術的な支援を行ってきました。 今後とも、地域間の連携や相互補完が効果的に発揮されるよう、地域の背景や各法人等の課題を踏まえた取組を進めていきます。	B 実現に努力しているもの	盛岡広域振興局	農政部	農政推進課
24	伝統工芸	2019/2/12	県政懇談会	県には「漆DAYSいわて」などにより、県内だけでなく、首都圏や海外にも発信してもらっており、自分たちも、製造できる量の限界とのバランスもあるが、様々な漆の産地との差別化を図りながらPRをしたいと思っている。 また、観光客に漆器の魅力を言葉で説明しても伝わりづらく、旅館やホテルの食事など、実際に使ってもらえるような場所があれば、魅力が伝わりやすくなると思う。	本県の漆製品の魅力を発信するため、令和元年度は、東京及び大阪で漆PRイベントを開催し、参加者に、漆器を使用して地酒や県産食材を使用した料理を楽しんでもらう機会を提供したほか、県内でも、漆器を使用して地酒を楽しむ企画などを実施したところです。 今後は、更に民間事業者と連携して、ホテルや飲食店で漆製品を使用してもらおうよう働きかけていきます。	B 実現に努力しているもの	商工労働観光部	産業経済交流課	地域産業担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
25	林業	2019/3/26	知事ホームページ	<p>県産木材の品質の良さを感じてもらうために、県庁6階にベンチを設置したことは政策として良いと思ったが、ベンチに座るためだけに6階まで上がる県民が少なく、仮に上がってベンチを利用する人がいたとしても、長居はできないのではないか。</p> <p>県産木材は関わる方たちの努力と誇りの結晶であり、無駄遣いとならないよう、設置場所を再考してほしい。</p>	<p>県庁6階エレベーターホールに設置したベンチは、公共施設や民間商業施設等での県産木材の利用を促進するため、民間の建築関係者の方々の指導の下、県内の林業・木材産業関係団体と合同製作したものです。</p> <p>県庁6階には、林業担当部局が配置されており、このような木材利用の取組を推進すべき立場にある市町村や林業・木材・建築関係者などが多く訪れるフロアであることから、県産木材利用の普及・啓発などの情報を発信する上で、より効果的であると考え、設置場所として県庁6階を選定したものです。</p> <p>今後も、今回いただいた御提言を参考にしながら、県庁舎内に県民の皆さまが利用しやすい木製家具を設置するなど、公共施設等での県産木材利用の取組を進めていきますので、本県の林業・木材産業の振興に御理解と御協力をお願いします。</p>	B 実現に努力しているもの	農林水産部	林業振興課	林業・木材担当
26	苦情(施策・事業)	2019/3/22	電子メール	<p>岩手県立図書館では、指定管理者が定期的に職員(司書職)を公募しているが、採用人数が少なすぎる。今回、求人に応募したが、図書館系の団体に所属しているという理由で選考から除外されたため、抗議をしたが、納得のいく回答を得られなかった。</p> <p>指定管理者の対応は、残念ながら地元雇用に十分配慮したものとはいえ、低賃金でも図書館司書として働きたいという個人の努力と熱意を踏みにじるものである。また、個人の思想・信条の自由を守る図書館が図書館系の団体に所属しているとの理由で選考から除外することは、正常な図書館運営とはいえないと思う。</p> <p>県は、指定管理者を管理・監督する責任がある。今回の件を踏まえて、指定管理者に対し定期的に雇用状況等をヒアリングするなど県立図書館の管理・運営体制について考えてほしい。</p>	<p>岩手県立図書館の指定管理者が雇用する職員については、運営業務仕様書等に定めはありませんが、地元雇用に十分配慮するよう要請しているところです。</p> <p>指定管理者の職員の採用選考については、指定管理者の主体性と責任のもとに行われるものであり、今回の採用選考においても公正な判断による選考結果であったと指定管理者から回答を受けています。</p> <p>当課においては、これまでと同様に定期的にヒアリングを実施するなど、職員の雇用条件等を含め、指定管理者の適正な業務運営が図られるよう努めていきます。</p>	A 提言の趣旨に沿って措置	教育委員会事務局	生涯学習文化財課	生涯学習担当
27	苦情(施策・事業)	2019/3/29	電子メール	<p>岩手県収入証紙14万円相当を買いに数箇所回ったが、どこも無くて細々と買い集め、やっと支払い金額に間に合わせた。</p> <p>早くから買い集めれば良いと思われるだろうが、公平公正をうたう行政としてはいかがなものか。</p>	<p>このたびは、岩手県収入証紙の御購入に当たり、御不便をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。</p> <p>多額の収入証紙を購入いただく場合は、最寄りの広域振興局審査指導監まであらかじめ御一報いただくと、購入が可能な売りさばき所を御案内できます。</p> <p>今後は、このような御不便が生じないように、上記の対応についてあらかじめホームページに掲載するなど、一層の周知を図っていきます。</p>	B 実現に努力しているもの	出納局	会計課	出納担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
28	苦情 (職員)	2019/3/4	電話	平成31年3月4日、盛岡広域振興局林務部に行ってきた。何も分からない状態で行ったのに、職員の態度が悪かったので、気分を害した。聞かされたのか、課長が間に入って、丁寧な説明をしてくれたので納得した。最初から対応した職員が丁寧な説明をしてくれれば、こんな思いをしなかった。コンプライアンスとか苦情対応をする部署があれば対応をお願いしたい。	このたびは、職員の態度で不快な思いをさせたことをお詫び申し上げます。 当部では、毎月、所属長からコンプライアンスの徹底について職員に注意喚起しているところですが、御指摘いただきましたことを真摯に受け止め、来庁者の皆様が不快な思いをすることのないよう、職員の服務規律の確保に向けて、より一層指導を徹底していきます。	B 実現に努力しているもの	盛岡広域振興局	林務部	森林保全課
29	苦情 (施策・事業)	2019/3/11	文書	県庁を利用する際、喫煙室から人が出入りするたびに煙がもれ、受動喫煙を強いられているようだ。周りの人のことを考え、県庁の敷地内を全面禁煙にしてほしい。 また、階段を利用する人が安全に通行できるよう、手摺は内側だけでなく壁側にも付けてほしい。	1 県庁舎の敷地内禁煙について 県庁舎においては、令和元年7月1日から敷地内全面禁煙とし、喫煙室も撤去しました。 2 手摺の設置について 県庁舎においては、誰もが安心して施設利用できるよう、ユニバーサルデザインによる施設環境整備を進めているところですが、今後とも御要望を踏まえ、利用実態を把握しながら、より適正な対策を適時適切に実施します。	B 実現に努力しているもの	総務部	管財課	公共施設マネジメント担当
30	道州制	2019/3/13	文書	日本の一極集中をやめ、国土の均衡ある発展と再度の高度経済成長を実現するためにも、「道州制」(ブロック化)を実現し、希望のもてる日本にするためにも、「遷都」「道州制」この二つのことと、地方分権によって、希望のもてる日本にしたいが、どのように考えているか。	現在、一部の政府関係機関において地方移転が進められており、本県では東京一極集中の抜本的な是正や地方創生の観点から、今後も国家戦略として取り組むよう国に要望しているところですが、遷都については、更に幅広い議論が必要と考えています。 また、道州制については、道州制という枠組みが地域のアイデンティティや住民意見が反映された形で施策展開が図られ、住民が主役の真の分権型社会が実現されるのかといったことなどについて、国民的議論が十分に行われる必要があると考えています。	C 当面は実現できないもの	政策地域部	政策推進室	分権推進担当
31	苦情 (施策・事業)	2019/4/1	知事ホームページ	子どもが頭を打ち、県立宮古病院の夜間救急を受診した。出血し傷口が割れていたが、圧迫止血の処置だけで、翌日脳神経外科を受診するように言われ家に戻った。 翌日、脳神経外科を受診したところ、「夜間救急受診の際、縫わなければならなかった。今更来てももう遅い」と言われた。夜間救急で縫わなかった理由を医師に尋ねると、「縫える医師ではなかった。縫える医師がその都度呼び出されたら、死んじゃうよ」という回答であった。 この医師の対応には他の患者も、「対応が悪いが、代わりの医者がいないから文句を言わず我慢するしかない」と嘆いている。 患者への対応も含め、病院としてきちんと機能するようにしてほしい。	このたびは御不快な思いをおかけしましたことを心からお詫びいたします。 当院では、休日及び夜間に救急患者さんが来院した場合には、当直医師の判断で治療を行い、緊急性に応じ高度救急病院への搬送や専門の医師に連絡を取り対応しています。また、当院の脳神経外科については、常勤医2名の体制で診療を行っているため、休日や夜間に常時当直医師として配置することが困難な状況になっています。 宮古病院を含む沿岸地域の県立病院の医師の充足は、派遣元の大学においても医師の絶対数が不足していることから非常に厳しい状況となっているところですが、当院においても複数名の医師を配置すべく、関係大学を訪問し、医師の派遣を強く要請するほか、即戦力となる医師の招聘や県の奨学金により養成した医師の招聘などに積極的に取り組んでいるところです。御提言の趣旨を踏まえ、今後も医師の充足が図られるよう、引き続き様々な方策で医師の確保に取り組んでいきます。	B 実現に努力しているもの	医療局	岩手県立宮古病院	医事経営課

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
32	苦情 (職員)	2019/4/1	電子メール	平成31年4月1日、県岩泉地区合同庁舎の玄関を出てきた職員に話しかけると、「うるさい。今忙しい。」と怒鳴られた。その職員は、その後たばこを吸っていた。自分を職員と間違えたようだが、驚いたし、不愉快である。	日頃から職員には窓口や電話での対応について、丁寧に行うよう指導しているところですが、接遇の基本として、親切かつ丁寧な対応の徹底を今後一層指導していきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	沿岸広域振興局(宮古)	土木部	岩泉土木センター 土木企画担当
33	苦情 (施策・事業)	2019/4/17	電子メール	県立中部病院を受診した際、10時の予約だったにもかかわらず、12時半を過ぎても診察を受けられなかった。看護師に状況を確認したところ、あと6人待っているとのことであったため、帰る旨を伝えると、予約の取り直しについて聞かれた。こんなに予約時間が守れないのに、予約をする意味があるのか。	来院された日は、医師が救急患者の診察に従事し、診療時間も長く要してしまったため、予約の患者さんを長時間待たせてしまいました。 当院が、救急患者を専門に診療する体制ではないという事情もあり、医師が急患対応等のため予約時間より遅れることがあるものの、患者さんの立場で考えますと、結果として時間の目途も立たないまま待たざるを得なかった状況にあったことや、予約の取り直しの相談についても、だいぶお待たせしてからであったことについて、適切な対応ではなかったと反省しております。 このたびの御提言を真摯に受け止め、お待たせする事情が生じた場合には、患者さんから尋ねられる前に病院側から事情や見直しをお伝えすることや、待ち時間の目安が分かるような対策について、今後検討していきます。	B 実現に努力しているもの	医療局	岩手県立中部病院	事務局
34	ふるさと 振興	2019/4/18	県政懇談会	東北地方でもカーリング専用施設を保有している地域は少なく、二戸では二十数年前から取り組み、カーリングといえば二戸といわれるまで浸透してきた。こういった二戸の特徴や歴史を生かし、観光客などの誘致を行うことにより、カシオペア地域全体の可能性が広がるのではないかと。	県では、平成12年から関係機関と連携し、「イーハトーブカーリングフェスティバル」を開催するなど、カーリングを通じた地域振興に取り組んでおり、令和元年度からは地域内の若者カーリング愛好家を中心とした団体「ミライリンク」が主催する「カーリングジュニアスクール」の取組を支援しています。 今後も関係機関と一層の連携を図り、カーリングの普及に向けた取組を促進するとともに、スポーツを通じた交流人口の拡大に取り組んでいきます。	B 実現に努力しているもの	県北広域振興局(二戸)	経営企画部	二戸地域振興センター 地域振興課
35	ふるさと 振興	2019/4/18	県政懇談会	近年、縄文文化について国内外で注目を浴びつつあり、町内でも、教育委員会が「いちのへ御所野縄文学」というカリキュラムを学校で実施しているほか、観光協会では、文化や環境を生かしたツアーなどを開催している。また、御所野縄文博物館でも、景観や自然を生かした体験学習を実施しているが、来場者の約8割の方は、こんなにすばらしいところがあるのを知らなかったという反応である。地域振興に向けては、文化財や伝統工芸品という文化の力を活用できるよう、カシオペア連邦の関係機関が連携して取り組んでいく必要がある。	北海道・北東北の縄文遺跡群の御所野遺跡については、県北地域の観光資源として極めて重要であると認識しています。 県では、御所野遺跡の世界遺産登録に向けた機運醸成を図るとともに、隣接圏域等での情報発信に取り組んでいるところです。 今後も、関係機関と連携の上、カシオペア地域の「歴史・文化」をテーマとした広域周遊の促進を図り、国内外の観光客の誘客拡大に取り組んでいきます。	B 実現に努力しているもの	県北広域振興局(二戸)	経営企画部	二戸地域振興センター 地域振興課

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
36	苦情 (職員)	2019/5/7	知事 ホーム ページ	<p>東京都から車で観光に訪れ、石割桜を見物しようと近隣の駐車場を探していたところ、県庁に多くの車が駐車していた。車から降りた家族連れが石割桜のある裁判所方面に歩いていくことから、一時的に駐車が可能であると思い、県庁駐車場に入庫したが、警備員にものすごい剣幕で退出するよう迫られた。</p> <p>県庁利用者以外の駐車を認めていないのであれば、県庁とは違う方向に歩いていく家族連れを黙認し、自分たちに対してのみ退出を迫る警備員の態度には納得できない。観光振興の観点からも、駐車時間を15分以内にするなどの条件付きで県庁駐車場を開放することを検討すべきではないか。</p>	<p>岩手県庁舎構内の駐車利用については、県庁の利用者に限らせていただくこととしています。このため、警備員が入り口において用務先を確認させていただいた上で、県庁以外に御用の方には駐車利用をお断りしているところですが、これは、平日も休日も同様の扱いとしていますので御理解をお願いします。</p> <p>また、来庁される方々への接遇については、かねてから、職員及び警備員に対して注意を促しています。このたびの件において不快な思いをされましたこととお詫び申し上げます。今後、御指摘のありました警備員はもとより、職場全体の問題として捉え、一層指導を徹底し適切な接遇対応に努めていきます。</p>	B 実現に努力しているもの	総務部	管財課	公共施設マネジメント担当
37	苦情 (施策・事業)	2019/5/30	電子メール	<p>先日、森林法とは関係ない部局の担当から、森林法ではない別の認可の申請内容について、森林保全課からの通知を根拠に、林地開発の基準による設計の見直しを求められた。</p> <p>既に林地開発許可済みの案件の更新申請であり、これまで安全に事業を続けてきたにもかかわらず、設計の見直しを求められた。</p> <p>他法令の許認可にも支障が出ているが、何か特定の情報により偏向した行政指導となっているのではないか。市町村の担当者からも、このまま手続きを進めていくと、確認で指摘を受けるので先に対応するように言われた。</p> <p>何が理由で市町村業務にまで影響を与えられるのか、ホームページなどで岩手県の見解を示していただきたい。</p>	<p>御提言のあった事案について、具体的な状況が正確に把握できないことから、一般的事項を回答します。</p> <p>他法令所管の許可業務については、所管する関係課で指導を行っていますが、林地開発許可と他の法令の許可をとるに取得する必要がある案件については、それぞれの許可基準に基づき審査を行っています。</p> <p>今後も林地開発許可制度の適正な運用に取り組んでいきますので、御理解をお願いします。</p>	B 実現に努力しているもの	農林水産部	森林保全課	保全・治山林道担当
38	復興	2019/5/31	電話	<p>三陸防災復興プロジェクト2019は、広い地域で多くのイベントが開催されるので、関係市町村と連携を図りながら、積極的にPRしてほしい。</p>	<p>三陸防災復興プロジェクト2019は、県や市町村、経済・観光等の関係団体で構成する実行委員会が主催しました。広報については、市町村をはじめとする実行委員会構成団体と連携して取り組み、周知に努めました。</p> <p>また、多くの事業が沿岸の13市町村で展開されたことから、各市町村で開催される事業内容について、周知が図られるよう努めました。</p>	A 提言の趣旨に沿って措置	政策地域部	三陸防災復興プロジェクト2019推進室	総務企画担当
39	交通	2019/5/27	文書	<p>令和元年5月25日に、観光で岩手を訪ねた際、盛岡市内で開催されたイベントの影響か人が多く盛岡駅前のタクシー乗り場が混雑していた。</p> <p>大きなイベント等の際には、タクシーを十分用意するとともに交通整理用意を最低5人は配備した方がいいのではないか。</p>	<p>頂いた御意見については、岩手県タクシー協会に情報提供するとともに、今後も引き続き公共交通機関の利便性向上に努めていきます。</p>	B 実現に努力しているもの	政策地域部	交通政策室	地域交通担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
40	交通	2019/5/20	県政懇談会	三陸鉄道が全線開通し三鉄を利用した宿泊客も増えてきたが、岩泉町は空港や新幹線駅から遠く、また、小本駅から龍泉洞までの交通手段も少なく、不便な町という印象を持たれている。宮古・室蘭フェリー航路の開設や国内外のクルーズ船の宮古湾への寄港も増えており、三陸自動車道など新たな交通ネットワークを生かし、レンタカーの普及などによる二次交通網の整備を期待している。	県では、三陸鉄道リアス線全線運行再開や三陸自動車道等、新たな交通ネットワークの整備が進む沿岸地域において、交通事業者等を構成員とした協議会を開催し、公共交通の利便性向上に向けた検討を行っています。 御提言いただいたレンタカー等の活用は、地域の公共交通を補完し、観光利用の増加につながることも期待されることから、三陸鉄道をはじめとした交通事業者にレンタカー会社との連携を働きかけるなど、二次交通の利便性向上に取り組んでいきます。	B 実現に努力しているもの	政策地域部	交通政策室	地域交通担当
41	キャッシュレス化	2019/5/20	県政懇談会	私が携わっている道の駅たのはたの食堂では、クレジットカードや交通系ICカード、キャッシュレス決済も使えるようにしているが、村内の他の店舗では、手数料を負担するのを嫌っている方が多く、キャッシュレス化が進んでいない。首都圏では財布を持って歩かない方も多く、Suica1枚あれば買い物ができ、電車やバスにも乗れる時代であり、観光客の利便性が高まるよう、県において、キャッシュレス化に向けた後押しをしてほしい。	キャッシュレス決済については、訪日外国人旅行者を含む利用者の利便性の向上や、事業者のレジ締め時間の短縮等による生産性向上、消費税率引き上げに伴い実施される予定のポイント還元事業への対応など、多くのメリットが期待できることから、県として、その普及拡大を図っていく必要があると認識しています。 県では、令和元年度、全国で4県が実証地域に選定された、総務省の「統一QR『JPQR』普及事業」に取り組みました。この普及事業に参加した事業者は、国内のQRコード決済事業者7社と一括契約を結ぶことができ、令和元年8月から令和2年6月までの11か月間の実証期間中は低廉な手数料率が適用されることとなっています。 また、消費税率引き上げに係る経済対策として、令和元年10月から令和2年6月までの9か月間実施される経済産業省の「キャッシュレス・消費者還元事業」では、QRコードのほか、クレジットカードや電子マネーのSuica・WAON等の決済方法も対象としています。 令和元年6月から7月にかけては、国・市町村・商工指導団体と連携し、県内各地で事業者向け説明会を開催したところであり、引き続き、関係機関連携の下、キャッシュレス決済の普及に取り組んでいきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	商工労働観光部	経営支援課	商業まちづくり担当
42	道路	2019/6/10	電子メール	一関市中心部と旧大東町を結ぶ県道一関大東線は勾配やカーブが多い。安全で時間短縮できるバイパスを整備することにより通勤や通学の利便性を向上させ、人口減少対策を図るとともに、地域格差を感じないまちづくりをしてほしい。	主要地方道一関大東線の生出地区周辺においては、道路幅員が狭く、大型車のすれ違いが困難であったことから、平成21年度から平成26年度にかけて、生出橋の拡幅や、流矢地区のJR大船渡線交差部の桁下高確保などを進めてきたところです。 御提言いただいたバイパスによる抜本的な整備については、早期の事業化は難しい状況ですが、交通量の推移や公共事業予算の動向等を見極めながら検討していきます。	C 当面は実現できないもの	県南広域振興局	土木部	一関土木センター 道路整備課

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
43	苦情 (施策・事業)	2019/6/6	電話	<p>顧客から依頼された自動車の車検を岩手運輸支局で受けるため、運輸支局に併設されている盛岡広域振興局県税部分室の納税証明書自動発行機で納税証明書を発行しようとしたが、発行されなかった。</p> <p>職員に理由を聞いたところ、コンビニエンスストアで納付した自動車税の納税確認は納付から2週間程度かかる場合があるとの説明だった。</p> <p>2週間も納税確認ができないのはおかしいのではないかと改善し県民の利便性の向上を図るよう強く要望する。</p>	<p>このたびは、自動車税の納税証明書の発行に当たり、御不便をお掛けしましたこととお詫び申し上げます。</p> <p>自動車税をコンビニエンスストアで納付したに関する情報は、収納代行業者から都道府県に通知されるまでにおよそ2週間程度の期間を要します。これに伴い、本県でも納税証明書の発行に時間を要する点について御理解願います。</p> <p>頂いた御提言は即時に解決できる問題ではありませんが、今後の周知等の取組に活かすことができるよう、事務改善の参考とさせていただきます。</p>	C 当面は実現できないもの	県南広域振興局	県税課	花巻県税センター納税課
44	苦情 (施策・事業)	2019/6/10	文書	<p>県立遠野病院で姉が息を引き取り家族が悲しんでいるところに、ずいぶん時間が経ってから死亡確認に来た医師が、「こんなんじゃない僕が入れないだろうが」と無然とした態度であった。</p> <p>周囲からも遠野病院は常駐する医師が少なく当番医が多く在籍することから、同じ診療科でも頻りに医師が代わり、当番医として診察するからか患者に対して心が無いと聞いている。医療設備が整っていても、常駐する医師や看護師が少なく、適切な治療が受けられないのではないかと危惧している。</p> <p>遠野市も医師や看護師が不足していると思うが、地域に根差し、一人でも多くの患者を救うといった強い意志を持つ素晴らしい医師や看護師が配属されることを強く望む。</p>	<p>このたびは、御家族の入院時において、当院の医師の対応により御不快な思いをおかけしたことに對して深くお詫び申し上げます。</p> <p>当院は、遠野市唯一の総合病院であり、救急から在宅医療まで幅広い医療サービスを提供していますが、常勤医師が十分に確保できていないことから、夜間・休日の診療については他の医療機関の医師の応援を受けながら診療を行っている状況です。</p> <p>しかしながら、今回御提言のありました御家族を御不快にさせる医師の対応については、御家族のお気持ちに寄り添ったものとはいえ、当院としましても非常に残念に思っています。</p> <p>今後においても医師の確保等による体制の充実に向けて努力するとともに、職員の接遇については、これまでも研修会等を通じて指導を行ってまいりましたが、今回の事案を顧みて、相手の立場に立った適切な対応ができるよう指導し、患者さんや御家族に信頼される病院となれるよう、なお一層努めていきます。</p>	B 実現に努力しているもの	医療局	岩手県立遠野病院	医事経営課
45	復興	2019/6/7	県政懇談会	<p>藻場再生のため、漁業協同組合やボランティアの方々と連携してウニの駆除を行っているが、駆除したウニを海の中で割るだけでは、ただお金を捨てているだけになってしまう。眠っている資源として「ウニは使える」と生産者も言っているし、ボランティア活動と観光を組み合わせたポランツーリズムにも結びついてきているので、「岩手イコールウニ」のイメージの定着などによるウニのブランド化を進めることにより、岩手の海をさらに盛り上げることができるのではないかと。</p>	<p>県産ウニは、その品質の高さから県内外の飲食店でお取り扱いいただいているほか、近年は「瓶ウニ」「瓶ドン」が着目され、新たな観光資源としても期待されているところです。</p> <p>このことから、県では、観光パンフレットで紹介し認知度向上に努めるとともに、県産食材の利用に意欲的な首都圏飲食店等に対してPRし販路拡大を図るなど、県産ウニのブランド化に努めていきます。</p>	A 提言の趣旨に沿って措置	農林水産部	流通課	流通改善担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
46	教育	2019/6/7	県政懇談会	私は今、教育コーディネーターとして高校と地域の連携を模索しているが、このような教育コーディネーターの役割は地域で求められていると感じるし、必要になってくるのではないかと。県内全域で教育コーディネーターを増やす体制づくりを進めていただければ現場も助かるし、教育コーディネーターを目指している学生もたくさんいると思うので、需要と供給が合うとよいと考えている。	県では、学校・家庭・地域の連携の仕組みづくりを進めるため、市町村における地域と学校をつなぐコーディネート人材の配置を支援しています。 具体的には、地域と学校の連携・協働に関する各種研修会や推進フォーラムを開催することで、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）の資質向上を図っています。また、令和元年度からは、今後、地域学校協働活動推進員（コーディネーター）としての役割を担うことが考えられる保護者や地域住民等を対象とした養成研修講座を開催し、新たなコーディネート人材の育成を図っています。 今後も市町村や関係機関との連携を図りながら、地域と学校の連携・協働の体制づくりに取り組んでいきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	教育委員会事務局	生涯学習文化財課	地域学校連携担当
47	国際化	2019/6/14	県政懇談会	各市町村や県が、それぞれ国際化に向けた取組を進めているが、各関係者間で情報が共有されておらず、重複した取組が行われているケースもある。関係者専用のオンラインデータベースで取組の情報を共有することで、より効果的かつ効果的な取組にできるとともに、在日外国人への情報提供も強化されるのではないかと。	県では岩手県国際交流協会と連携し、令和元年度から県内の市町村や国際交流協会等の団体が実施する事業等の情報の共有や国際交流等で活躍する人材などの活用を図るため、「いわて国際交流・国際協力、多文化共生リソースバンク」を設置し、運用しています。 今後も岩手県国際交流協会と緊密に連携し、同バンクのより一層の周知と活用を図り、外国人等への情報発信を強化していきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	政策地域部	国際室	国際担当
48	医療関係	2019/6/14	県政懇談会	岩手県は、日本政府観光局（JNTO）で公表している外国人旅行者を受入れ可能な医療機関が、他県に比べて極端に少ない。ILCの実現により、来県する外国人が増えることが予想されるため、医療面において外国人が安心して来県できるよう取り組んでほしい。	厚生労働省と観光庁では、令和元年度、都道府県が選出する「外国人患者を受け入れる拠点的な医療機関」の情報を取りまとめた新たなリストを公表することとしています。 このリストは、従来の日本政府観光局（JNTO）のリストやその他のリストを一元化するものです。 本県では現在、このリストに掲載する拠点的な医療機関の選出を進めるため、医療機関に意向確認を行っているところであり、外国人患者が地域で安心して受診できるよう、医療機関や関係団体に対し働きかけを行い、多くの医療機関を選出できるよう取り組んでいきます。	B 実現に努力しているもの	保健福祉部	医療政策室	医務担当
49	ILC	2019/6/14	県政懇談会	超伝導加速空洞の研磨装置の開発を行っているが、本格的な装置の設計などを行うにあたり、実用化に向けた設計やラボの建設に多くの資金が必要となるため、資金面での支援制度の確立に向けて県として取り組んでほしい。	県では、いわて産業振興センターや加速器関連産業研究会等と連携しながら、加速器関連産業への参入促進や技術支援を行っています。 加速器関連技術の研究開発については、最先端技術ということもあり、研究開発に要する費用が大きいものと認識しており、県としては、民間企業の皆様においても積極的に研究開発に取り組んでいただけるよう検討していきます。	B 実現に努力しているもの	ILC推進局	事業推進課	事業調整担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
50	ILC	2019/6/14	県政懇談会	ILCは将来の子どものためだけでなく、観光、産業振興において多くのメリットがある一方、建設のために森林の伐採や土地の造成などが必要となるため、環境に配慮し、環境と共存した形の計画が求められる。	ILCの建設に当たっては、できるだけ地表の改変を抑制し、必要な施設を地下に入れるなど、動植物等への影響を小さくするという設計思想があります。今後、計画の進捗に伴い、国際研究所において自主的な環境アセスメントの実施などが予定されていますが、できるだけ環境影響の小さい計画となるよう県としても確認していきます。	B 実現に努力しているもの	ILC推進局	事業推進課	事業調整担当
51	苦情(職員)	2019/7/1	知事ホームページ	北上土木センターに書類を提出した際、職員から記載内容の不備を指摘された。記載例のとおりに記載したことを示したところ、職員はいきなり激高し「内容を分かっているなら良いが、分からないのなら口答えるな」と暴言を吐いた。 多数の職員がいる前での暴言であり、とても県職員の発する言葉とは思えない。このことについて謝罪してほしい。	このたびは、職員の対応により御不快な思いをおかけしたことに對して、深くお詫び申し上げます。 職員の接遇については、今回の御指摘を職場全体の問題と捉え指導を徹底するとともに、親切かつ丁寧な対応に努めていきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	県南広域振興局	土木部	北上土木センター管理課
52	医療関係	2019/7/10	知事ホームページ	乳がんの手術を受け治療中であるが、高額療養費制度の申請はしたものの、毎月支払う医療費やカツラなどは非常に高額である。東北の他県では、乳がん患者に対する助成が進んでいるが、岩手県内で助成を行っているのは北上市のみである。県全体で助成が受けられるよう検討してほしい。	先進自治体の取組状況などをもとに検討した結果、令和2年度から、市町村ががん患者に対し医療用ウィッグの購入費用の助成を行う場合、その一部を県が補助する制度を開始することとしました。現在補助を行っているのは北上市ですが、今後、補助対象となる市町村の拡大に努めていきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	保健福祉部	医療政策室	地域医療推進担当
53	花巻空港	2019/7/23	知事ホームページ	中国遼寧省出身で岩手県在住だが、東日本大震災前に運航していた大連経由の仙台・北京便がなくなり、帰省も家族の来日も大変不便になった。 いわて花巻空港からの直行便が開通すれば、観光客や特産品の販売も増加し、地方創生の一助となるのではないかと。是非検討してほしい。	現在、いわて花巻空港では、上海浦東国際空港との間で中国東方航空による定期便が就航しており、毎週水・土曜日に各1往復が運航されています。 大連周水子国際空港には、中国東方航空の乗継便がありますので、大連への帰省や御家族が来日される際には、是非上海乗継便を御利用ください。 上海以外の中国への路線の誘致については、本県でも引き続き取り組んでいきます。 なお、令和元年11月2日から、大連経由の仙台・北京便が運航されることを申し添えます。	B 実現に努力しているもの	政策地域部	交通政策室	空港振興担当
54	苦情(職員)	2019/7/16	電子メール	県立二戸病院では、看護師や助産師、女性スタッフが温かい対応で心強く、無事に出産することができた。 しかし、出産直後に入ってきた医師は、患者である私に声もかけず、女性スタッフに対し激怒し説教を始め、とても気分が悪い思いをした。 女性にとって妊娠、出産はとても貴重な体験であり、最後の最後に台無しにされ、とても残念だ。自分以外の人がこのような思いをしないように指導してほしい。	このたびは、御出産に際し、医師が配慮を欠く対応をしましたことをお詫び申し上げます。 当該医師には、病院長から厳しく指導するとともに、他のスタッフにも今回の事案を共有し再発防止に取り組むこととしたところです。 今回の御提案を真摯に受け止め、今後は、地域の皆様が安心して療養生活を送ることができるよう、職員研修等の機会を通じて接遇の向上に努めていきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	医療局	岩手県立二戸病院	事務局

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
55	苦情 (職員)	2019/7/22	電子メール	県立二戸病院に出産のため数日間入院した際、一部の助産師が患者やその家族の前で他の助産師を怒鳴ったり、ナースステーションで患者の話題をネタにして大声で笑っているのを目にした。 患者はこのような態度に恐怖を感じ不安になるため、改善してほしい。	このたびは、助産師の言動により恐怖や不安を与えましたこととお詫び申し上げます。 頂きました御意見を看護スタッフで共有し、これまでのスタッフの言動を顧みたとこです。 職員の接遇については、これまでも研修会等の機会を捉え指導を行ってきましたが、今回の御指摘を踏まえ、より一層、看護職としての自覚を持ち、行動するよう心掛けていきます。	B 実現に努力しているもの	医療局	岩手県立二戸病院	事務局
56	福祉	2019/7/31	電子メール	紙様式の身体障害者手帳を交付されているが、透明なフィルムカバーと記載されている内容の文字がくっつき、一部の文字が読みづらくなっている。 また、公共交通機関を利用する場合などに、カバンから身体障害者手帳をすぐに取り出せないなど、不便を感じることもある。 厚生労働省のホームページを見ると、カード様式の身体障害者手帳もあるようだが、岩手県ではカード様式の障害者手帳を交付する予定はないと聞いた。今後、カード様式の障害者手帳の発行について検討してほしい。	身体障害者手帳の形式については、これまで厚生労働省の省令において定められていたところですが、平成31年3月に省令が改正され、手帳のカード形式での交付も含め各都道府県において定めることとされたところです。 カード化の導入に当たっては、記載内容・形式、各種減免措置に係る関係機関等との調整、設備導入・システム改修等について多岐に渡る検討が必要です。 そのため、身体障害者手帳のカード化については、関係機関・団体の意向を把握するとともに、各都道府県における状況を継続的に注視した上で、本県の対応を検討していきます。	B 実現に努力しているもの	保健福祉部	障がい保健福祉課	障がい福祉担当
57	苦情 (職員)	2019/8/1	知事ホームページ	令和元年7月31日21時30分頃、一関市真柴地区で迷い犬を保護したので一関保健所に連絡したところ、「飲酒しており車を運転できないため、合同庁舎まで保護犬を連れて来てください。」と言われた。それはできないので、警察に連絡すると伝えると、「保護するのはこちらであり、警察に連絡するとこちらが怒られるので、連絡せずにこちらに連れて来てください。」と言われた。勤務中に飲酒していたということだったのか。また、「怒られるから連絡しないでほしい。」という対応はいかがなものか。	このたびは、職員の対応により御不快な思いをさせてしまい、誠に申し訳ありませんでした。御連絡いただきました令和元年7月31日21時30分頃、職員は勤務終了後の会食の席で飲酒していましたので、公用車でお申出の場所に引き取りに伺うことができず、明朝までの保護犬のお預かり又は合同庁舎までの移送の御協力をお願いしたところです。 御連絡いただきました保護犬については、翌日、飼い主の方から御連絡があり、無事にお返ししていることを申し添えます。今後、住民の方々への適切な対応、接遇等について心がけていきますので、御理解をいただきますようお願いいたします。	B 実現に努力しているもの	県南広域振興局	一関保健所	環境衛生課
58	苦情 (職員)	2019/9/27	知事ホームページ	高圧ガス関係の書類の提出のため、県の総合防災室の担当者に電話をしたところ、忙しいので2週間後に来るように言われた。2週間後となると期限が間近なことを伝えたが「そっちの都合で私には関係ない」という対応で大変不愉快な思いをした。 対応した職員は名前を聞いても答えず、前もって伝えた日時に訪問した際は不在であった。もっと市民目線での対応をしてほしい。	このたびは、職員の対応により御不快な思いをおかけしたことに對して、深くお詫び申し上げます。 また、高圧ガス関係書類の許認可処理に時間を要したことについても、重ねてお詫び申し上げます。 今後、このようなことがないよう、県民の視点に立ち、適切かつ丁寧な対応に努めていきます。	B 実現に努力しているもの	総務部	総合防災室	防災消防担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
59	環境	2019/9/2	電子メール	<p>マイクロプラスチックごみの海洋汚染などが問題視されているが、プラスチックごみは一向に減らず、街のあちこちに散乱している。ごみの減量化について県民の意識が薄いのではないか。</p> <p>ごみ減量化に向けての分別やりサイクルについて、県での広報、講習、イベントキャンペーンなどによるPRをお願いしたい。</p> <p>また、スーパーマーケットでは買い物袋の持参を呼び掛ける取組を行っているが、道の駅やコンビニエンスストアなどでは、備え付けのビニール袋を使用している。このような業界でも買い物袋を持参してもらえるよう、県として取り組んでほしい。</p>	<p>家庭から排出されるプラスチックごみについては、現在、県としても家庭ごみの処理を担う市町村とともに、その減量化、資源化を進めるため、「いわて三ツ星ecoマナーアクション」というキャンペーンに取り組んでいるところです。</p> <p>この取組の中で、レジ袋などの使い捨てプラスチックの使用を控えていただくよう呼び掛けており、こうした取組を今後も一層推進していく予定です。</p> <p>また、県では、ごみの減量化やりサイクルに積極的に取り組むお店を「エコショップいわて認定店」として認定する制度も運用しているところです。</p>	B 実現に努力しているもの	環境生活部	資源循環推進課	資源循環担当
60	苦情(職員)	2019/9/2	電子メール	<p>宮古地区合同庁舎の近くを通るたびに、職員が喫煙所以外で喫煙している。最近では時間外に、近くの駐車場等で数人がたまって喫煙している。</p> <p>どちらも喫煙場所ではないため迷惑している。何とかしてほしい。</p>	<p>このたびの御指摘について、御不快な思いをおかけしたことに對し、深くお詫び申し上げます。</p> <p>宮古地区合同庁舎では、令和元年7月1日から敷地内全面禁煙とし、喫煙所についても同日から閉鎖したところです。</p> <p>職員に対しては、これまでも喫煙マナーについての注意喚起を図ってきたところですが、頂いた御指摘を踏まえ、県民の方や近隣の店舗、施設等への迷惑となるような行為は厳に慎むよう、引き続き周知徹底を図り指導していきます。</p>	A 提言の趣旨に沿って措置	沿岸広域振興局(宮古)	経営企画部	宮古地域振興センター総務課
61	苦情(施策・事業)	2019/9/27	電子メール	<p>県営運動公園内の交通公園で、2歳の子どもとマイバイクを持参して遊んでいた際に、親が付き添っていたにもかかわらず、職員から「やめてください」「ぶつかったらお互いに嫌な思いをします」と言われ、遊ばせてもらえず追い出された。</p> <p>2歳児に交通ルールが理解できないのは仕方がないのではないか。利用については年齢制限も書いておらず、遊ぶことを制限されるとは思わなかった。</p> <p>職員の威圧的な態度や、子供の遊びを取り上げるようなことはしないよう、きちんと指導・管理をお願いしたい。</p>	<p>このたびは、交通公園の利用にあたり、不快な思いをされたことをお詫び申し上げます。</p> <p>交通公園は、子どもが楽しみながら交通安全のルールやマナーなどを身につけてもらうことを目的とした施設で、乗り物を利用する人も歩行者も交通ルールを守っていただくことを前提に御利用いただいております。</p> <p>また、事故の未然防止のため、混雑状況等により係員が危険と判断した場合には利用の制限を行うなどしており、これらのことは、交通公園入口の看板でお知らせしているところです。</p> <p>御提言いただいたことについて施設の管理を委託している公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団に確認したところ、「当時、園内が混雑してきており、危険だと判断したため、利用を御遠慮いただいたが、丁寧な説明が必要であった。今後は、言動・態度等に注意していきたい。」と報告を受けているところです。</p> <p>今回の御意見を参考に、今後は、交通公園を利用される皆様が気持ちよく御利用いただけるよう努めていきます。</p>	A 提言の趣旨に沿って措置	文化スポーツ部	スポーツ振興課	生涯スポーツ担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
62	道路	2019/9/30	電子メール	開運橋西交差点の横断歩道橋は、信号機付きの横断歩道が併設されているため利用者が少ない。また、歩道を極端に狭くしており、通行に大きな支障をきたしている。 桜城小学校の児童が安全に通学するために設置したと聞いたことがあるが、学校では横断歩道橋を通行するよう指導しているのか。 景観を考えると、税金で維持管理を続けるより撤去したほうがよいと思う。	御提言のありました開運橋西交差点の横断歩道橋(木伏口歩道橋)の撤去については、利用される県民の方々や、地元町内会、桜城小学校、公安委員会などの意見を聞いたうえで、当歩道橋の今後の在り方を検討していきます。 なお、桜城小学校では、児童に当歩道橋の下にある横断歩道を通るよう指導していることを確認しています。	C 当面は実現できないもの	盛岡広域振興局	土木部	道路環境課
63	自然・動物	2019/10/1	知事ホームページ	他県では県と愛護団体が連携して、犬や猫など動物の殺処分ゼロに向けた取組を行っているが、岩手県でも県全体で取り組んでほしい。 人間の身勝手に動物の命が奪われることのないよう、今までのような殺処分ではなく、保護や譲渡へのシフトチェンジを進めてほしい。	保健所に引き取られた動物や飼い主に返還されなかった動物のうち、健康状態や性質等、譲渡に適したものは、適正に動物を飼育できる新しい飼い主(動物愛護団体を含む。)に対して譲渡をしています。 また、保健所では、動物愛護団体と連携し譲渡会を開催するなど、動物の命を救う取組も行っています。	B 実現に努力しているもの	環境生活部	県民くらしの安全課	食の安全安心担当
64	道路	2019/10/25	電子メール	盛岡市の都南大橋たもとの工事のため、朝の通勤時と夜の帰宅時の交通渋滞がひどい状況である。交通渋滞を緩和する交通誘導や交通整理を行ってほしい。	御提言を頂いた都南大橋たもとの渋滞は、国土交通省が行っている都南川目道路の整備に伴う通行規制によるものです。 通行規制は、令和元年11月29日に終了しております。 御協力いただき、ありがとうございました。	A 提言の趣旨に沿って措置	盛岡広域振興局	土木部	道路環境課
65	苦情(施策・事業)	2019/10/28	電子メール	県営体育館東側通用門付近に灰皿が設置されており、そこで喫煙する人を多数見かける。 令和元年7月から県立施設を全て敷地内禁煙としたのであれば、改正健康増進法違反ではないのか。	「健康増進法の一部を改正する法律」(平成30年法律第78号)の施行に伴い、県では令和元年5月に「県立の施設における受動喫煙防止対策指針」を改正しています。 この指針では、同法第28条第13項に定める「特定屋外喫煙場所」の設置を条件に例外的な扱いを認めています。県では、平成31年4月1日時点で「指定管理施設のうち利用料金制を採用する施設」等は指定管理期間中に限り例外的な扱いを認めており、県営体育館はこれに該当します。 ただし、令和2年4月1日までに受動喫煙防止対策を講ずることとされており、現在、県営体育館の指定管理者である公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団において、準備を進めているところです。 頂いた御提言は、指定管理者とも共有し、受動喫煙の防止に向け、喫煙場所の変更や廃止に向けた検討を進めていきます。	B 実現に努力しているもの	文化スポーツ部	スポーツ振興課	生涯スポーツ担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
66	雇用・労働	2019/10/3	県政懇談会	インターンシップに行く企業を決めるとき、地元就職に関する情報が少なかったことで都会の企業ばかりに目が向いた。学生が県内就職に興味を持つように、岩手で就職するメリットなどの情報をもっと発信してほしい。	<p>県では、産学官金労の団体で構成する「いわてで働こう推進協議会」と連携し、新卒者等の県内就職の促進や、県内企業の認知度の向上、総合的な情報発信などに取り組んでいます。</p> <p>具体的な取組として、①高校生や保護者に向けた就職ガイダンスの実施、②大学等の校内で県内企業を紹介する「企業キャラバン」の展開、③学生自らが生き方・働き方を主体的に考える学びの場としての「ふるさと発見！大交流会」の開催などにより、生徒・学生・保護者等が県内企業と接する機会を増やしています。</p> <p>引き続き、「いわてで働こう推進協議会」を中心に、本県の魅力的な仕事や県内就職の利点等に関する情報発信など、様々な取組を進めることにより、学生の県内就職を一層促進していきます。</p> <p>なお、本県企業でのインターンシップの実施については、県内大学等で構成する東北インターンシップ推進コミュニティや、ジョブカフェいわてに設置しているインターンシップサポート窓口を通じて支援していますので、是非御活用ください。</p>	B 実現に努力しているもの	商工労働観光部	定住推進・雇用労働室	雇用促進担当
67	復興	2019/10/3	県政懇談会	沿岸地域の復興にあたっては、釜石市のラグビー文化や、陸前高田市で進められているeスポーツに関する取組などのように、地域の風土や独自性を生かして進めていく必要があるのではないか。	令和2年度は、ラグビーワールドカップ2019TM釜石開催のレガシーを生かし、メモリアルイベント開催や県外・海外との交流等、ラグビー県いわての定着に向けた取組など、沿岸地域の地域資源や特徴を生かした取組を進め、復興とその先を見据えた地域振興に取り組んでいきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	政策地域部	地域振興室	県北沿岸振興担当
68	医療関係	2019/10/3	県政懇談会	病気を抱える学生は、地元就職を希望していても医療機関が充実している都市部への就職を考えざるを得ないため、そのような学生が安心して地元就職できるように、病院や医師を増やしてほしい。	<p>県では、奨学金制度による医師の養成や県外から即戦力医師の招へい等の取組を推進しており、令和元年度は、53名の奨学金養成医師を県内の県立病院等に配置したところです。</p> <p>こうした養成医師の配置が進む一方で、医師不足が依然として深刻な状況にあるため、引き続き、医師養成の取組を更に推進していくとともに、現在、県が策定中の医師確保計画に医師確保のための実効性の高い施策を盛り込み、対策を講じていく考えです。</p> <p>また、医師不足や医師偏在の解消に向けて、国全体で医師の計画的養成などに取り組むよう国に対し継続して提言しているところであり、今後は他県との連携を強化しながら、医師不足や医師偏在の根本的な解消について、国に強く働きかけていきます。</p>	B 実現に努力しているもの	保健福祉部	医療政策室	医務担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
69	若者・女性支援	2019/10/3	県政懇談会	「いわて希望塾」は中学生が対象だが、年齢により考え方は違うため、中学卒業後にも意見交換する場があれば岩手について深く考えるきっかけとなり、ふるさと振興につながるのではないか。	県では、若者の活躍を支援するため、様々な分野の若者たちが意見交換・活動発表を行い、今後の主体的な活動につなげるための交流の場を平成25年度から設けています。 また、平成29年度からは、若者同士の交流を促進し、若者の主体的な活動を発信する場として、県公会堂の地下に「いわて若者カフェ」をオープンし、若者の活動をサポートするカフェマスターとのミーティングやワークショップなどを実施しています。このほか、県内大学や沿岸地域等での出張開催も行い、より多くの若者が参加しやすい工夫をしています。 このような取組の周知を充実させ、若者のアイデアや様々な活動をふるさと振興につなげられるよう、引き続き取り組んでいきます。	B 実現に努力しているもの	環境生活部	若者女性協働推進室	青少年・男女共同参画担当
70	スポーツ振興	2019/10/3	県政懇談会	全国的に、新しい形の運動会「未来の運動会」をつくらうという機運が高まっている。新たなスポーツイベントを協力してつくることは、参加者の交流や相互理解につながり、ネットワークづくりのきっかけとなるため、岩手県でも「未来の運動会」のような取組が進めばいい。	県では、年齢や身体能力、障がいの有無等にかかわらず、県民一人ひとりがスポーツに取り組めるよう、スポーツを楽しむ機会の充実等の取組を進めており、岩手発の「超人スポーツ」の創出に向けては、関係団体、企業、大学等と幅広く連携し、競技開発に向けたワークショップの開催や普及活動を実施しているところです。 御提言のありました「未来の運動会」は、現時点では実施の予定はありませんが、こうした取組を通じて多くの方々にスポーツを楽しむ機会の充実が図られるよう、努めていきます。	B 実現に努力しているもの	文化スポーツ部	スポーツ振興課	生涯スポーツ担当
71	医療関係	2019/11/11	電子メール	現在、不妊治療をしているが、診療時間が8時30分から17時30分までの病院が多く、仕事を休まなければ通院できない。不妊治療は1週間に何度も病院に行かなければならず、仕事と両立できるよう、せめて18時30分くらいまで診療してくれる病院が増えてほしい。 また、治療費について、人工授精等には補助金があるが、ほかの治療にも多くの費用がかかるため、補助金について検討してほしい。	営業時間の変更についてですが、医療機関の開設許可上、営業時間を制限する規定はなく、営業時間の設定は各医療機関に委ねられていますので、御理解いただくようお願いいたします。 次に、不妊治療に対する補助金ですが、県においては、国庫補助金を活用して、特定不妊治療に対する助成を行っているほか、国に対し、助成限度額の引き上げなどを要望しています。 また、全国知事会を通じて、国に対して、不妊治療の治療日数に応じた休暇制度の創設、一般不妊治療への助成、不妊治療の保険適用化及びがん患者の治療前精子・卵子の保存や不育症の治療への助成の検討を要望しているところであり、今後においても、不妊治療を受ける方の経済的負担の軽減を図る取組を継続していきます。	B 実現に努力しているもの	保健福祉部	子ども子育て支援課	少子化担当
72	道路	2019/11/21	電話	国道343号笹ノ田峠のループ橋は、冬になると凍結したカーブが続き危険である。ループ橋の橋桁の補修工事を行っているが、トンネルの建設にお金をかけた方がよいのではないか。 区界峠も早坂峠もトンネルが出来て冬場の走行が楽になった。陸前高田市から一関市へ行くにはループ橋、盛岡市へ行くには荷沢峠と、危険で時間がかかる道路ばかりだ。 冬場でも安全に、少しでも短い距離で内陸へ行けるよう、トンネルの建設について考えてほしい。	一般国道343号については、内陸部と気仙地区を結び、沿岸地域の早期復興を支援するとともに、安全・安心な暮らしを支え、広域的な観光などの振興にも資する重要な路線であると認識していますが、笹ノ田峠でのトンネル建設には多額の事業費を要することが見込まれるため、安定的な事業予算の確保が課題となり、慎重な判断が必要と考えています。	C 当面は実現できないもの	沿岸広域振興局（大船渡）	土木部	大船渡土木センター道路整備課

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
73	復興	2019/11/25	県政懇談会	震災前から鮮魚店を営んでいるが、この二、三年は復興をキーワードとした遠方からの購入者やイベントでの出店者が減少傾向になり、さらには、イカやサケの不漁や価格の高騰などにより、安定した仕入れが見込まれない状況もある。客離れにつながるとともに、地元の食文化の低迷にもなるのではないかと危機感を感じている。震災前に大槌の漁港にあったマツカワやヒラメの養殖、サケの稚魚の養殖を海での養殖に広げるなど、安定した漁といわて黄金ブランドとなる魚種の養殖などに取り組み、不漁に負けない岩手の水産業を目指し、住民と行政が一体となって課題解決に取り組む必要がある。	県では、サケについては、計画的な種卵確保や高水温に強いサケ稚魚の生産技術の開発などによる資源回復を進めているほか、サンマやスルメイカについては、国の資源管理制度に連動しながら、資源回復に取り組んでいます。 また、養殖生産については、漁協と連携して、ワカメやホタテの生産性向上や養殖棚の増設などを進めているほか、新たにサケ、マス類の海面養殖試験を開始しています。 こうした取組に加え、資源が増加しているマイワシの小型漁船による試験操業や、サバやイワシを捕獲するまき網漁船の誘致も支援しており、今後とも、あらゆる取組を推進し、岩手の水産業の振興に全力を挙げて取り組んでいきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	農林水産部	水産振興課	復興担当
74	教育	2019/11/25	県政懇談会	我が子が県立の支援学校に通学しており、送迎のため、大槌から釜石間を1日2往復している。町内の学校であればスクールバスで通学できる距離なのに、障がいのある子どもたちを育てる親はなぜ送迎なのか、地域の差なのか、仕事はできないのかと考えることがある。今後生まれてくる子どもたちのため、格差のない地域社会になるようにしてほしい。	県教育委員会においては、安全かつ安心な学習環境の整備に向けて、現在、特別支援学校整備計画の策定に取り組んでいるところ。整備計画の策定に当たっては、県全体の現状と課題、校種別・地域別といった視点等から現状と課題を整理していくとともに、関係者等からも意見を聴取しながら進めていく考えです。 通学バスの運行については、児童生徒の状況等を勘案した運行ルートや時間設定等を当該校が検討・協議しており、併せて通学バス乗車を希望する保護者に対する説明等も行ったところ。今後、当該校と取組状況等を共有しながら、通学バス運行に向けた環境の整備を進めていきたいと考えています。	B 実現に努力しているもの	教育委員会事務局	学校教育課	特別支援教育担当
75	福祉	2019/11/25	県政懇談会	全国的に障がいのある方の居場所や子どもを預かってくれる場所が不足しており、既存の施設では受入れ体制が整わず利用できない方がいる。 事業所の数と質の充実を図るとともに継続的に運営できる基盤づくりを進めるためには、国、県、市町村のバックアップが必要である。また、働くスタッフの確保や待遇改善も早急な課題ではないか。	県では、障がいのある方が身近なところで希望するサービスを利用できるよう、岩手県障がい福祉計画を策定して地域の実情やニーズを踏まえたサービス見込量を設定した上で、障がい福祉サービス従事者の養成研修や国庫補助を活用した社会福祉施設等施設整備費補助を行うとともに、市町村と連携して、サービス提供体制の整備・確保に取り組んでいるところ。 また、障がい福祉サービス事業所が将来にわたって安定した運営ができるよう、適切な水準の報酬を設定するよう国に要望しているところであり、今後も、機会を捉えながら働きかけていきます。	B 実現に努力しているもの	保健福祉部	障がい保健福祉課	障がい福祉担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
76	環境	2019/12/6	電子メール	<p>気候非常事態宣言は、気候危機の事実を公に宣言することで住民にその危険性を周知徹底させることができるため、世界中で急速に広まり、国内でも宣言を行う自治体が出始めている。岩手県も全県民に現状の危機を知らせよう気候非常事態宣言を発表してほしい。</p>	<p>「気候非常事態宣言」は、地球温暖化などの気候変動を人類にとっての「非常事態」として、具体的な対策に取り組むことを宣言する世界的な運動です。宣言の主体は、地方議会のほか、地方自治体等の行政機関、大学、経済団体などの例もあり、ご指摘のとおり、国内では長崎県壱岐市、長野県白馬村、福岡県大木町など、令和元年12月20日現在で国内では7つの自治体が宣言を発表しています。</p> <p>県では、知事が、令和元年11月27日の記者会見において、令和2年度に策定予定の次期岩手県環境基本計画に、当該計画期間を超えた目標として、「2050年温室効果ガス排出量の実質ゼロ」を掲げたいということを表明しているところです。</p> <p>これは、パリ協定の目標達成に地域から貢献するため、地方自治体として、温室効果ガスの排出削減に向けたメッセージを発信したものであり、気候変動対策について、県として、国を上回る削減目標を掲げ、温室効果ガス排出削減に向けた具体的な取組を進めていこうとするものです。</p> <p>今後、脱炭素社会の実現に向けた具体的な取組を検討し、県民総参加による地球温暖化対策に取り組んでいきます。</p>	B 実現に努力しているもの	環境生活部	環境生活企画室	温暖化・エネルギー対策担当
77	環境	2019/12/6	電子メール	<p>岩手県は県内からの温室効果ガス排出量を2050年には実質ゼロとする目標を掲げているが、政府は時代に逆行して石炭火力発電所の増設を進めようとしており、世界からブーイングを浴びている。COP25で気候危機対策に努力している国際社会への背信行為であり、日本全体が脱石油脱石炭の脱炭素社会を目指すため、岩手県の強いリーダーシップを期待する。</p>	<p>国では、令和元年6月に、パリ協定に基づく長期成長戦略を策定し、主要7か国で初めて、今世紀後半のできるだけ早期に、温室効果ガス排出量の実質ゼロを目指すことを掲げましたが、2050年の温室効果ガス排出量の削減目標は80%にとどまることや、石炭火力発電の新設計画を取り止めていないことなどが課題と指摘されており、パリ協定の目標達成に向けて更なる取組が求められています。</p> <p>県としては、地方自治体から、温室効果ガスの排出削減に向けたメッセージを発信することは、パリ協定の目標達成に地域から貢献する観点からも重要であると考え、令和2年度に策定予定の次期岩手県環境基本計画に、当該計画期間を超えた目標として、「2050年温室効果ガス排出量の実質ゼロ」を掲げたいことを令和元年11月27日の記者会見において表明したところです。</p> <p>温室効果ガスの排出削減に向けては、県民一人ひとりの自主的な行動が重要であることから、全県的な団体・機関で構成する「温暖化防止いわて県民会議」を中心に、具体的な行動に取り組む県民運動を展開し、県民総参加による地球温暖化対策に取り組んでいきます。</p>	B 実現に努力しているもの	環境生活部	環境生活企画室	温暖化・エネルギー対策担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
78	再生可能エネルギー	2019/12/6	電子メール	再生可能エネルギーは温室効果ガスを排出しない地域資源であり、地域の宝である。民間がバイオマスボイラーを導入する際の補助金等を検討するなど、岩手県として、これまで以上に、再生可能エネルギーの普及促進に努めてほしい。	県では、全国的にも優れた風力や地熱などのポテンシャルを活用し、再生可能エネルギーの更なる導入促進に取り組んできたところ。 本県における再生可能エネルギーによる電力自給率は、直近の平成30年度末で29.5%となっており、今後さらに上昇すると見込まれることから、いわて県民計画の政策推進プランに掲げる、令和4年度の再生可能エネルギーによる電力自給率37%の達成に向けて、着実に取組を進めていきます。	B 実現に努力しているもの	環境生活部	環境生活企画室	温暖化・エネルギー対策担当
79	再生可能エネルギー	2019/12/6	電子メール	再生可能エネルギーは温室効果ガスを排出しない地域資源であり、地域の宝である。民間がバイオマスボイラーを導入する際の補助金等を検討するなど、岩手県として、これまで以上に、再生可能エネルギーの普及促進に努めてほしい。	県では、木質バイオマスボイラーの導入を希望する事業者に対して、国の補助事業を活用した支援や、木質バイオマスの専門家派遣による技術指導等を行っているほか、県民や事業者等を対象とした木質バイオマスエネルギーフォーラムの開催などによる普及啓発に取り組んできたところ。県内にある木質バイオマス発電施設が将来にわたって安定的に稼働できるよう、木質燃料の安定供給に向け取り組んでいきます。 また、家畜排せつ物を利用したバイオマス発電施設等の導入については、畜産業を営む方に対し、国の補助事業の活用について支援を行っており、引き続き、地域資源を活用したバイオマスボイラー等の導入促進に向け取組を進めていきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	農林水産部	農林水産企画室	企画担当
80	環境	2019/12/6	電子メール	自伐型林業は採算性と環境保全を高い次元で両立させる持続可能な林業である。 山主の家族単位や地域コミュニティ単位の参入など、幅広い就労を実現し、地域経済の活性化につながる。 また、CO2の吸収による地球温暖化対策や、雨や風に強い森を育てることによる防災力が期待できることから、山や郷里を守ることもできる。 今、国土の7割を占める山林を活用する「地方創生の鍵」として期待され、全国で自伐型林業の普及を目指す自治体が急速に増えてきている。 岩手県としても制度を整備し、自伐型林業の普及に努めてほしい。	森林は、水源のかん養や二酸化炭素の吸収による地球環境の保全等の多面的機能を有し、県民が安全で安心して暮らせる社会の実現や、木材等の林産物の供給源として地域の経済活動と深く結びついており、この恩恵を県民が将来にわたって享受するには、森林を適正に整備・保全することが重要です。 このことから、国では、森林の有する多面的機能を高度に発揮させるため、自伐型林業など森林所有者や地域住民が共同で行う森林整備活動の取組に対する支援を目的として、平成25年度から森林・山村多面的機能発揮対策事業を実施しており、平成29年度からは、県においても「いわての森林づくり県民税」を活用し、本事業の実施に要する経費への支援を行っています。 平成30年度は、94団体が本事業により森林整備活動等を実施しており、平成25年度からの6年間で県内の森林において除間伐等が4,137ha実施されるなど着実に実績が上がっていることから、県では引き続き各地域での活動を支援していきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	農林水産部	森林整備課	計画担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
81	苦情 (職員)	2019/12/6	電子メール	<p>千厩病院で夜間に診療を受けた際、宿直員から医療費の振込先等が書かれたメモを渡された。その後、千厩病院の事務職員から、医療費の支払いに来院するよう連絡を受けたが、宿直員からは振込でよいとの説明を受けており、医療点数の内容も不明なので、明細と請求書を送ってほしいと伝えたところ、請求書は送っておらず、はがきに金額を記載して送ると言われた。</p> <p>再度、医療費の明細が無いと納得がいらず支払えないと伝え、渋々、請求書を郵送するという説明があった。</p> <p>個人の受診情報をはがきで送付することはあり得ない。きちんと県立病院所定の請求書を送るべきではないか。</p>	<p>【支払方法の説明について】</p> <p>基本的には病院窓口でのお支払いをお願いするものですが、遠方の方にもお支払いしやすい方法を選択していただけるよう、コンビニエンスストアでのお支払いや口座振込による支払方法も説明し、希望する方法に応じて納付書及び明細書を送付しています。夜間・休日等の救急受診時にお渡しする説明文書についても、併せて見直しを行いました。</p> <p>また、説明内容の統一を図るため、関係職員間で上記対応について共有したところであり、今後も引き続き徹底を図ってまいります。</p> <p>【明細書の御要望に対する不適切な説明について】</p> <p>はがきによるお知らせは、電話での連絡が取れない方に対して医療費をお知らせするためのものであり、受診日や金額が記載されていることから、プライバシー保護シールを貼った上で送付しています。</p> <p>明細書の送付を御要望いただいたにもかかわらず、当該はがきを送付すると御説明したことについては、明細の分かる請求書を送付すべきでしたが、運用の理解が不足していたことに加え、御要望に対する誠実さが足りなかったものと受け止めています。</p> <p>本来の目的に応じた使い方をするように改めるとともに、病院を利用する方が御不快・御不便を感じないように心がけ、誠意ある対応に努めることを改めて関係職員間で確認しました。</p>	A 提言の趣旨に沿って措置	医療局	医事企画課	
82	苦情 (職員)	2019/12/12	電子メール	<p>最近、県の非常勤嘱託員や講師の不祥事が多い。どのような基準で採用や更新をしているのか。</p> <p>同じ職場に長年勤務しているので、仕事は知っているかもしれないが、能力が低く、素行の悪い職員が多い。管理者は職員の管理を徹底してほしい。雇用機会の均等、質の向上などの観点からも採用基準を刷新した方が良いのではないか。</p>	<p>職員の綱紀の保持については、これまでも繰り返し注意喚起しておりましたが、このような不祥事が発生したことは、誠に遺憾であり、県民の信頼を大きく損ねる事態であると重く受け止めております。</p> <p>非常勤嘱託員は、専門的な知識、技能等を必要とする職で、こうした専門性や公務員としての資質を有する者を面接等を行い採用しております。</p> <p>今般、事案の発生を受け、各所属に対し通知文書を発出し、再発防止に係る注意喚起を行ったところであります。また、今後、非常勤嘱託員を採用する際は、職務上必要な専門性を有していることはもとより、コンプライアンス遵守について十分に説明し、職員としての資質を有しているか確認するとともに、採用後も定期的な面談を通じて、その徹底を図って参ります。</p> <p>今後とも県政への御理解と御協力をお願いいたします。</p>	B 実際に努力しているもの	総務部	人事課	人事担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
83	苦情(職員)	2019/12/12	電子メール	最近、県の非常勤嘱託員や講師の不祥事が多い。どのような基準で採用や更新をしているのか。同じ職場に長年勤務しているので、仕事は知っているかもしれないが、能力が低く、素行の悪い職員が多い。管理者は職員の管理を徹底してほしい。雇用機会の均等、質の向上などの観点からも採用基準を刷新した方が良いのではないか。	学校で任用する非常勤講師については、教育職員免許状所有者を対象とし、採用する学校又は教育事務所において面接を行い、資質、適正等を判断の上採用しています。更新の可否については、採用後の勤務状況を踏まえた上で決定しています。今後の非常勤講師の任用においては、コンプライアンス遵守に係る確認なども含め、なお一層、慎重に資質・適性等を判断しながら行いたいと考えています。	B 実現に努力しているもの	教育委員会事務局	教職員課	県立学校人事担当
84	苦情(職員)	2019/12/12	電子メール	県の非常勤職員が、平日の日中に公用車を使い盛岡市内の大型店を訪れ、店内を徘徊していた。管理者は実態を把握しているのか。出張の際に目の届かないところでさぼっていたのであれば、ドライブレコーダー、走行記録、活動日誌などを使い、出張自体の検証が必要ではないか。また、業務報告を徹底しなければならないのではないかと。	当センターでは、理化学検査補助、自然環境調査補助、放射能測定補助など、多様な業務に複数の非常勤職員が従事しています。御指摘いただいた件については、日時等不明なこともあり、そのような事実があったかどうか確認できませんでした。例えば、野外調査で山奥に出張した場合には、変則的な時間や場所で休憩を取らざるをえないこともあると聞いており、一概にはお答えできませんが、御指摘いただいたように、県民の方が職員の行動に不快な思いをされる場合もあることを各職員に改めて注意し、服務規律の確保に向けて、より一層指導していきます。	B 実現に努力しているもの	環境生活部	岩手県環境保健研究センター	企画情報部
85	食産業振興	2019/12/24	県政懇談会	令和元年度に開催したフュージョンディナーや美食サロンは、一回きりのイベントではなく、定着させていくことが大事であり、継続することによって新しいアイデアが生まれると思う。今回、スペインとフランスからシェフに来ていただいたが、こちらからも海外へ行き、交流する機会があれば参加したいというシェフも多く、実現すれば、より良いつながりができていくのではないかと。	令和元年度、沿岸13市町村で実施した「三陸美食サロン」は、三陸地域を訪れた観光客等に、地元ならではの食材を使用した料理を食べていただく機会となり、三陸地域の食材や魅力を広く発信できたと考えています。また、首都圏の著名シェフと県内シェフとの協働によるメニュー考案等を通じて、地元食材の活用方法にも広がりが見られるなど、県内シェフの資質向上やネットワーク形成の面からも非常に有意義な取組と認識しています。県では、三陸地域の市町村や観光協会等と連携を図りながら、「三陸美食サロン」の定着に向けて今後も取り組んでいきます。また、「三陸国際ガストロノミー会議2019」に登壇いただいた海外シェフと、県内シェフとの交流機会の確保についても、料理関係団体と連携のもと検討していきます。	B 実現に努力しているもの	農林水産部	流通課	6次産業化推進担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
86	国際化	2019/12/24	県政懇談会	令和元年台風第19号のときに、住田町に住んでいる外国人の方々に防災情報や避難勧告が届いていなかったことから、コミュニティをつくっていき、情報が伝わるようにする必要がある。	県では、災害時に速やかに外国人を支援できる体制の整備に向け、公益財団法人岩手県国際交流協会や市町村と連携し、外国人の避難を想定した多言語情報伝達訓練や災害時に外国人を支援する災害時多言語サポーターの養成等に取り組んでいるほか、「いわて防災情報ポータル」や県ホームページ等において、気象警報・注意報や避難勧告・指示情報等の各種防災情報を多言語(英語、中国語、韓国語)で発信しています。 また、県の地域防災計画では、災害時において外国人が迅速かつ的確に避難することができるよう、避難勧告などの伝達、避難場所や避難経路の表示など、災害に関する案内等を多言語で行うよう市町村に求めています。 災害発生時に必要な情報を適切に提供することは重要と考えており、引き続き、岩手県国際交流協会や市町村と連携しながら、外国人県民が地域で安心して生活することができる環境整備に取り組んでいきます。	B 実現に努力しているもの	政策地域部	国際室	国際交流担当
87	観光	2019/12/24	県政懇談会	震災後、三陸沿岸道路を含め縦軸の交通ネットワークの整備が進み、三陸を線でつなぐような旅行プランも立てやすくなっているが、その利便性はまだ広く認知されていないと感じている。新しいインフラ整備により、三陸が線につながり、宮城県ともアクセスが良くなっていることなどを発信していくとよいのではないかと。	三陸地域では、三陸鉄道の全線運行再開や令和2年度末に予定される三陸沿岸道路全線開通など、交通ネットワークの整備が進んでいます。 県では、こうした新たな交通ネットワークを活用し、三陸沿岸地域で開催されるイベントや様々な取組、沿岸各地の観光資源をつなぐことや、より広く周遊し、より長く滞在できるモデルコースの構築などに取り組む、これらを様々な媒体を活用して国内外に発信していきます。	B 実現に努力しているもの	商工労働観光部	観光課	三陸観光地域づくり担当
88	若者・女性支援	2019/12/24	県政懇談会	若者や女性が伸び伸びと活動するために、ベーシックインカムのような制度や副業が推奨されていくことで、自分たちの興味に合ったものを深めていきやすくなり、これまでとは違う動きや幸福度が生まれてくるのではないかと。	県では、若者の主体的な活動の活性化につながるよう、独創的・先進的な事業を実施する若者団体を対象にした「いわて若者アイデア実現補助」や、文化芸術分野における若者の活躍の場を提供することを目的とした「若者文化振興事業費補助金」を創設し、資金面からの支援を行っています。 また、若者の交流や活動の場として岩手県公会堂地下に「いわて若者カフェ」を開設しており、これらの取組等を通じて、若者の交流促進や若者の主体的な取組を支援していきます。 女性活躍支援としては、女性が活躍できる職場環境づくりを促進するため、いわて女性活躍企業等認定制度等の普及や、女性活躍のためのセミナーの実施のほか、業種を越えた活躍する女性のネットワークづくりを構築するため、岩手で輝く女性大交流会の開催や、若手女性社員へのロールモデル提供事業などを実施しています。 また、令和元年度には、女性起業家や女性経営者の活動を紹介するPR冊子を発行し、女性の起業事例の情報発信を行ったところです。	B 実現に努力しているもの	環境生活部	若者女性協働推進室	青少年・男女共同参画担当

No.	区分	受理年月日	受理方法	意見提言内容	取組状況	反映区分	部局名	回答課	回答担当
89	若者・女性支援	2019/12/24	県政懇談会	若者や女性が伸び伸びと活動するために、ベーシックインカムのような制度や副業が推奨されていくことで、自分たちの興味に合ったものを深めていきやすくなり、これまでとは違う動きや幸福度が生まれてくるのではないかと。	県では、経済団体や労働団体をはじめとした様々な団体で構成される「いわてで働こう推進協議会」を中心とした「いわて働き方改革推進運動」の展開により、長時間労働の是正などの働き方の改善に取り組み、魅力ある職場づくりを進めています。 また、あらゆる人が持てる能力を最大限に発揮することを可能とする、ダイバーシティ経営の導入を促すとともに、若者・女性のライフステージやライフスタイルに合わせて働き続けることができるよう、短時間勤務や副業など、各自の置かれた状況に応じた新しい働き方ができる環境整備を促進しています。 さらに、若者・女性の所得向上に向けて、企業が労働生産性を高め、経営力を強化し、魅力ある雇用・労働環境の整備に取り組むことが重要であり、県として、様々な業種へのカイズの普及展開、付加価値向上のための新商品開発や販路開拓への支援などに取り組んでいます。	B 実現に努力しているもの	商工労働観光部	定住推進・雇用労働室	労働担当
90	若者・女性支援	2019/12/24	県政懇談会	若者や女性が伸び伸びと活動するために、ベーシックインカムのような制度や副業が推奨されていくことで、自分たちの興味に合ったものを深めていきやすくなり、これまでとは違う動きや幸福度が生まれてくるのではないかと。	県では、「複業」を通じ社会貢献を考えている首都圏等の人材と、人材を求めている県内企業等とのマッチングを図る「遠恋複業課」の取組により、地域に継続的に多様な形で関わる方々を拡大していく取組を進めています。	B 実現に努力しているもの	政策地域部	地域振興室	地域振興担当
91	復興	2019/12/24	県政懇談会	今後も三陸防災復興プロジェクトが続くのであれば、沿岸市町村も内陸市町村ももう少し防災に関する情報を集約して、首都圏に対して発信していくと良いのではないかと。	県では、東日本大震災津波の事実を踏まえた教訓を今後の国内外の防災活動に生かすため、「いわて震災津波アーカイブ～希望～」に内陸市町村も含めた記録を蓄積するとともに、その活用を促進していきます。 また、令和2年度は、震災発生から10年を契機とし風化防止と復興への理解等を促進するため、復興の状況などを伝える事業を国の東日本大震災10周年事業と連動して実施するほか、フォーラムや復興だよりの発行など、復興に関する情報を首都圏等に対し重層的に発信していきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	政策地域部	地域振興室	県北・沿岸振興担当
92	復興	2019/12/24	県政懇談会	東日本大震災津波伝承館には、多くの修学旅行生が訪れているが、陸前高田市内には、まだ訪れたことがないという子どもたちが多く、沿岸出身ではない先生も多く、PTSDなどの心配もある中で、震災のことをどのように扱ったら良いかわからないという声もあり、なかなか防災教育が進まないというのが現状である。県としても、子どもたちへの防災教育、生きるための学びを推し進めてもらいたい。	震災の記憶のない児童生徒、教職員が、教訓を語り継いでいくために副読本、伝承施設、震災遺構、石碑等の活用を推奨しています。陸前高田市の「東日本大震災津波伝承館」、釜石市の「いのちをつなぐ未来館」等の伝承施設を利用することにより、児童生徒に「いきる」、「かかわる」、「そなえる」の価値を育てることができると考えています。今後も伝承施設の利用促進に努めていきます。 防災教育は、「いわての復興教育」の一部として、各学校が、地域の実情、児童生徒の状況等に合わせて取り組んでいます。今後も「防災教育」を通して、かけがえのない生命、地域とのつながり、地域づくり等に気づかせ、自らの生き方・あり方を考え、社会を創造する人材の育成に努めていきます。	A 提言の趣旨に沿って措置	教育委員会事務局	学校調整課	産業・復興教育担当